

成人おめでとう

平成30年行方市成人式

大人への第一歩を踏み出した406人の新成人たち

平成30年行方市成人式が1月7日(日)、市文化会館で晴れやかに開かれました。

今年の新成人は、平成9年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた市内在住者および市内出身者406人(男性218人、女性188人)です。

晴れ着に身を包んだ新成人たちは、久しぶりに会う恩師や友人と写真を取り合ったり、近況を語り合ったりと、会場はたくさんの笑顔であふれました。

式典の企画・進行は、新成人で構成する実行委員会(16人)が中心となって行いました。また、今年も「新成人みんなで行う社会貢献活動」として、アジア・アフリカの子どもたちに、家庭で使わなくなった鍵盤ハーモニカやリコーダー等を贈る活動を実施しました(活動報告は5ページをご覧ください)。

式典で市長からは「多くの人たちとの出会いや一つ一つの努力の積み重ねが、皆さんを成長させ、道を切り開く力となります。どうぞ、人との出会いを大切に、自分の可能性を信じて進んでください」とお祝いの言葉がありました。

式典後のアトラクションでは、実行委員会が制作した恩師からのお祝いメッセージの映像や中学時代の思い出の写真が映されたり、新成人から恩師へのインタビューが行われたりと、会場は大いに盛り上がりました。



▲記念品贈呈 市長から新成人代表 成島圭亮さんへ



▲成人者代表謝辞 成人式実行委員長 根崎百香さん

平成30年成人式実行委員

※順不同、敬称略

根崎百香 北澤和樹 箕輪樹里 高野紗里奈 茂木崇翔
横山遥香 茂木裕伊斗 千葉健太 永作花香 窪谷美南風
村上直紀 小野静之 成島圭亮 田中天満 野原麗羅 山中浩平

覚えていますか? 20年前のこと

平成9 (1997) 年→平成10 (1998) 年



- ▶消費増税実施 (3% から5% に)。アニメ「ポケットモンスター」テレビ放送開始 (平成9年4月)
- ▶明治製菓とロッテが日本初のキシリトール入りガムを発売 (平成9年5月)
- ▶サッカー日本代表が、W杯フランス大会に向けたアジア第3代表決定戦に勝利。W杯初出場を決める(ジョホールバルの歓喜) (平成9年11月)
- ▶東京湾アクアライン開通 (平成9年12月)
- ▶長野冬季オリンピック・パラリンピック開催 (平成10年2月~3月)
- ▶ベストセラー…「少年H」(妹尾河童)、「失楽園」(渡辺淳一)、「ビストロ・スマップ完全レシピ」(ビストロスマップ制作委員会編) など
- ▶映画…「もののけ姫」、「新世紀エヴァンゲリオン劇場版」、「名探偵コナン 時計じかけの摩天楼」など
- ▶ヒット曲…「硝子の少年」(Kinki kids)、「HOWEVER」(GLAY) など



①④⑤友人と記念撮影。②⑨⑩式典の様子。③アトラクションで司会を務めた2人。⑥お世話になった担任の先生や部活顧問の先生と共にパチリ。先生もニコリ、うれしそう。⑦振り袖に合わせたヘアスタイルも、とてもすてきです。⑧紋付きはかまにスーツ、みんなよく似合っています。⑩アトラクションでは、新成人から恩師へのインタビューや、中学校時代の懐かしい映像が放映されました。⑫式典の司会進行役の2人。⑬⑭⑮受付は、実行委員と一緒に行方市高校生会のメンバーが協力してくれました。

♥あなたの「夢」や「二十歳の思い」を教えてください♥



二十歳の夢♥





成人者代表発表

—成人を迎えて—



千葉健太さん

本日、私たちのためにこのような素晴らしい成人式を開いてくださり誠にありがとうございます。自分は、まだまだ未熟者です。成人を迎えるにあたり、そう深く実感しています。未熟者ながら、皆さまの前でせっかくこのような機会を頂いたので、せんえつながらお話しさせていただきます。

私は、成人を迎える前に一つの大きな壁にぶち当たりました。20年間生きてきて一度も経験したことのない大きな壁でした。高校を卒業し、大学に入学して間もなく、3歳の頃から始めた大好きなサッカーができなくなりました。足を骨折し手術がうまくいかず、約1年間治療や入院を繰り返しました。学校にもほとんど行けず、当時は精神的にも追い込まれました。サッカーができなくなると自分に何の価値もないのではないかと、思い、大学やサッカーを辞めて働くこと

まで本気で考えました。家族にも当たり、上手いかないことは人のせいにして、自分と向き合うことからとことん逃げました。

今振り返ると、恥ずかしいくらい強がり、人に弱みを見せることを嫌っていただけでした。しかし、そんな自分を助けてくれたのは家族や仲間、高校時代の恩師でした。この中にも長い入院生活中、何度もお見舞いに来てくれた仲間がいます。毎週、茨城から東京の病院まで来てくれた家族がいます。足の治療やリハビリと本気で向き合ってくれたトレーナーの方や恩師がいます。その結果、つい最近、約1年半の治療やリハビリによって、大学サッカーに復帰することができました。この経験から得られたことは、自分を支えてくれていた方々の存在の大きさに気づけたことです。

最初にも述べたように、自分は、まだまだ未熟者です。一人では生きていきません。だからこそ、これからの一度しかない自分の人生、毎日が挑戦であり成長し続けなければいけません。そして、周りの人を思いやり感謝する気持ち、常に謙虚な気持ちを持ち続けて、これからも精進していきたいです。

これまでの20年間を振り返ると、教科書の無償給与や公立高校の授業料免除などにより、私たちは安心して教育を受けられる環境にあったように思います。

また、両親や祖父母には物質的にも精神的にもたくさんのお援助をしていただき、ここまで成長することができました。

成人式実行委員会では、今までお世話になった方々への感謝の気持ちを何か形にすることができないかと考え、新成人みなで行う社会貢献活動として、各家庭に眠っている楽器を収集し、アジア・アフリカの子どもたちに贈る活動を実施しました。これは、この活動を一つのきっかけとして、これからは社会に目を向け、人のため、地域のために貢献して行くという決意を表したものです。



野原麗羅さん

皆さまからいただいた楽器は、清掃・消毒ののち、アジア・アフリカの子どもたちへ贈られ、募金については、楽器の海外への輸送費の一部となります。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

■集まった楽器の数

鍵盤ハーモニカ 30個
リコーダー 39個
ハーモニカ 3個

■募金額

3000円

※集まった楽器と募金は、NGO茨城の会の協力で、アジア・アフリカの子どもたちへ贈られます。



新成人みなで行う社会貢献活動報告

「私にもできること～アジア・アフリカの子どもたちに楽器を贈ろう～」